

Historical Materials on Kanazawa Higher Normal School and The Fourth Higher School and Ishikawa Normal School belonging to the secretariat of Kanazawa University

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/641

金沢大学事務局所管の金沢高等師範学校・ 第四高等学校・石川師範学校関係資料

江森 一郎・谷本 宗生*

Historical Materials on Kanazawa Higher Normal School & The Fourth Higher School & Ishikawa Normal School belonging to the secretariat of Kanazawa University

Ichiro EMORI, Muneo TANIMOTO*

はじめに

本稿は、我々が『金沢大学50年史』編纂の目的で、金沢大学各学部事務部を調査した折に、金沢大学の前身校にあたる金沢高等師範学校・第四高等学校・石川師範学校の関係資料を発掘し、それをリスト化したものである。なお、関係資料にかかわる若干の解説や情報も加えた。

I, 金沢大学理学部事務局所管の金沢高等師範学校関係資料リスト (調査日: 1997年8月19日)

- 1, 金沢高等師範学校沿革史 *写真数枚在中
- 2, 金沢高等師範学校沿革史 *コピー版
- 3, 金沢大学理学部沿革 (自昭和24年至昭和44年)
- 4, 履歴書 (教官) 高師
- 5, 指示及通牒綴 金沢高等師範学校
- 6, 年報書類
- 7, 北陸総合大学創立関係
- 8, 科学教育関係 (金沢高師)
- 9, 学校教育に関する通牒 (昭和20年8月以降) 金高師 庶務課
- 10, 記念写真帖 第1-2集 金沢高等師範学校 2冊 *各教官の人物ファイル
- 11, 大学基準関係 (昭和25-35年) 理学部
- 12, 公文書 (昭和19年) 金沢高等師範学校
- 13, 公文書 (昭和20年) 金沢高等師範学校
- 14, 公文書 (昭和21年) 金沢高等師範学校
- 15, 公文書 (昭和22年) 金沢高等師範学校
- 16, 公文書 (昭和23年) 金沢高等師範学校

- 17, 公文書 (昭和24年) 金沢高等師範学校
- 18, 公文書 (昭和25年) 金沢高等師範学校
- 19, 公文書綴 (昭和23年4月-24年5月) 金沢高等師範学校
- 20, 雑件綴 金沢高等師範学校
- 21, 雑件綴 金沢高等師範学校
- 22, 雑件綴 金沢高等師範学校
- 23, [教員採用関係他] 金沢大学理学部
- 24, 監督教官日誌 (昭和20年8月起) 道法寺隊 金沢高等師範学校
- 25, [学徒勤労令] 金沢高等師範学校
- 26, 二塚稲刈作業日誌 (昭和19年9月自2日至6日) 金沢高等師範学校
- 27, 勤労働員事務手控 (昭和20年2月) 片瀬
- 28, 安原 長江谷 勤労作業出席簿 (昭和20年) 金沢高等師範学校
- 29, 勤労働員経理関係書類綴 (昭和2乙酉年2月以降) 生徒課
- 30, 長江 安原 作業日誌 (昭和20年) 金沢高等師範学校
- 31, 長江谷作業監督日誌 (昭和20年) 金沢高等師範学校
- 32, 団費収支証憑書類綴 (昭和19年) 金沢高等師範学校報国団
- 33, 長江谷作業日誌 (昭和19年) 金沢高等師範学校
- 34, 報告団関係書類綴 (昭和19年7月1日起) 生徒課事務
- 35, 監督教官日誌 (昭和20年2月) 金沢高等師範学校

平成10年9月14日受理

* 谷本宗生 (金沢大学50年史編纂室助手)

- 36, 作業日誌（昭和20年2月）金沢高等師範学校理科第一部
 37, 作業日誌（昭和20年2月）金沢高等師範学校理科第二部
 38, 作業日誌（昭和20年2月）金沢高等師範学校理科第三部
 39, 生徒出勤簿（昭和20年2月）金沢高等師範学校
 40, 勤労挺身出勤簿（風第二九六五二部隊金沢部隊）金沢高等師範学校
 41, 高等諸学校一覧（昭和18年10月30日）文部省専門教育局
 42, 高等諸学校統計（昭和17年4月10日）文部省専門学務局
 43, 研究機関等の事業報告書作成の参考 金沢大学理学部
 44, 科学教育研究室に関する書類 理学部
 45, 文化講義書類 金沢高等師範学校

金沢高師の概略

金沢高師は、1944（昭和19）年3月、理数科の中等学校教員を養成する目的で、理科3部（1部数学科・2部物象科・3部生物科）を置き、修業年限4年間の全寮制の学校として設立される。

戦後の新学制によって、1947（昭和22）年、理科の他に文科2部（1部英語科、2部地歴科）を設置する。1949（昭和24）年5月31日、新制大学の金沢大学に包括統合されて、金沢大学金沢高等師範学校と改称する。1952（昭和27）年3月31日、金沢高師は閉校される。

8年間の短命の学校であったが、現在も金沢高師同窓会が会誌『無限』（自治会誌第1〈S. 22. 3. 5〉-6〈S. 27. 3. 5〉号）を定期的に刊行しており、1998年10月までに第14号を出している。

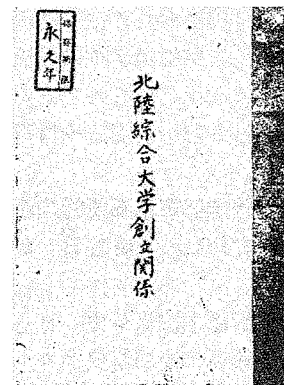
資料の内容

1945（昭和24）年に新制大学の金沢大学に金沢高師が包括統合されたことにより、金沢高師関係資料も金沢大学に移管される。金沢高師の

事務関係資料は、金沢大学理学部の事務部に引継がれる。現在、事務関係資料は理学部の事務部倉庫（2階）の棚に保管されている。

理学部事務部所管の金沢高師関係資料は、大別すると下記の通りである。1)写真アルバム、2)庶務関係の公文書、3)学徒動員関係書類、4)職員人事関係書類、5)学校沿革・統計書などである。

リストNo. 7の「北陸総合大学創立関係」には、例えば昭和23年11月10-16日の「大学設置委員視察日程」や「大学設置委員氏名（来沢の分）」など、北陸総合大学設立に関する文書が記されている。



(写真1)

No. 17の「公文書（昭和24年）」には、例えば文部省大学学術局学生生活課長からの要請を受けて実施された「学生団体調（昭和24年6月現在）」など、管理運営に関する文書が綴られている。

同上「学生団体調」には、「学生運動の現段階における傾向、特徴、特記すべき事項」などが挙げられており、当時の社会状況を考えるとたいへん興味深い。

「概ね自主的に行動していて学外団体の影響に支配されている傾向はない 大学法案反対運動や教育防衛運動のやうな一般的な学生運動に対しては生徒全般の関心を高めるために自治会委員が大いに努力しているが概して集りがよくない この事は休暇期間や試験期日に対する生

徒側の希望といったやうな校内問題についても同様である この傾向は学生運動に対する反対意志の表明ではなくて戦後一般に見られる青年の“骨おしめ”的態度の一つの現れであると解される」(「学生団体調」より抜粋)

資料複製：『金沢大学50年史』の編纂のため、一部紙焼き複製を行っている(複製は、50年史編纂室所蔵)が、資料の多くは複製はなされていない。また、「特別科学学級」関係資料は、金沢大学教育学部附属高等学校の『附高五十年』(1998年)に、一部復刻掲載されている。

利用問題：事務局所管資料であるため、現段階では一般的に学外から自由に閲覧利用することは難しい。

関連資料：金沢大学には、附属図書館(地下書庫)に金沢高師の蔵書が約1万冊所蔵されている。しかし、図書は未整理の状態である。

II、金沢大学文学部・法学部・経済学部事務局所管の第四高等学校関係資料リスト(調査日：1997年12月2日)

<写真アルバム>

- 1, 四高同窓会七十年記念全国大会記念写真集(昭和31年10月27-28日)四高同窓会本部
- 2, [四高関係アルバム] 他4冊
- 3, [法文関係アルバム]
- 4, [四高関係写真] 1袋

<四高関係史料簿冊綴>

- 5, 学生生徒性行等ニ関スル書類(自大正12年4月至大正15年3月)学生掛
- 6, 学生生徒性行等ニ関スル書類(自大正15年4月至昭和7年3月)学生掛
- 7, 参考書綴(思想性行) 1
- 8, 参考書綴(思想性行) 2
- 9, 申告書綴(五十音順)
- 10, 就職希望ニ関スル申告綴
- 11, 外人講師契約書
- 12, 外人教員関係書類
- 13, 外国人教師ニ関スル書類 庶務課
- 14, 外国教師履歴書 第一集

- 15, 外国教師ニ関スル件(明治34年12月止)庶務掛(四冊ノ内甲号書類)
- 16, 外国教師ニ関スル件(明治34年12月止)庶務掛(四冊ノ内乙号書類ノ下)
- 17, 傭人ニ関スル書類(自昭和4年1月)会計課
- 18, 傭人ニ関スル書類(自昭和22年1月至昭和年)会計課
- 19, 現行例規類纂 上編 第一部
- 20, 現行例規類纂 中編 第二部庶務上第三部庶務下
- 21, 現行例規類纂 下編 第四部教務第五部風紀及衛生
- 22, 例規(大正7年)
- 23, 例規(大正8年)
- 24, 例規(大正9年)
- 25, 例規(大正10年)
- 26, 例規(大正11年)
- 27, 例規(大正12年)
- 28, 例規(大正13年)
- 29, 例規(大正14年)
- 30, 例規(大正15年)
- 31, 例規(昭和2年)
- 32, 例規(昭和3年) 庶務掛
- 33, 例規(昭和4年)
- 34, 例規(昭和5年)
- 35, 例規(昭和6年)
- 36, 例規(昭和7年)
- 37, 例規(昭和8年)
- 38, 例規(昭和9年)
- 39, 例規(昭和10年)
- 40, 例規編冊(昭和11年)
- 41, 例規(昭和12年)
- 42, 例規(昭和13年)
- 43, 例規(昭和14年)
- 44, 例規(昭和15年)
- 45, 例規(昭和16年)
- 46, 例規(昭和17年)
- 47, 例規(昭和18年)
- 48, 例規(昭和19年)

- 49, 例規(昭和20年)
- 50, 例規(昭和21年)
- 51, 庶務課例規(昭和22年度)
- 52, 例規(昭和23年)庶務課
- 53, 例規(昭和24年)
- 54, 保証書(昭和4年)第四高等学校
- 55, 保証書(昭和9年)第四高等学校
- 56, 保証書(昭和10年)第四高等学校
- 57, 保証書(昭和11年度入学)第四高等学校
- 58, 保証書(昭和12年度入学)第四高等学校
- 59, 保証書(昭和13年入学)第四高等学校
- 60, 保証書綴(昭和14年4月入学)第四高等学校
- 61, 戸籍謄本(昭和7年)第四高等学校
- 62, 戸籍謄本(昭和13年入学)第四高等学校
- 63, 戸籍謄本綴(昭和14年4月入学)第四高等学校
- 64, 入学志願書(昭和15年)文科
- 65, 通常会員索引(1)第四高等学校同窓会
- 66, 通常会員索引(2)第四高等学校同窓会
- 67, [石川四高会](昭和10年3月卒業生まで)計2冊
- 68, [卒業生名簿](昭和17年3月卒業生まで)
- 69, 会員名簿(昭和23年8月1日発行)第四高等学校同窓会
- 70, [石川四高会](昭和24年3月卒業生まで)
- 71, [北浜会会員名簿](昭和28・4・12発行)
- 72, 会員名簿(昭和30年度版)第四高等学校同窓会 計3冊
- 73, 同窓会名簿(昭和30年9月)関西四高会
- 74, 会員名簿(昭和30年9月)福井四高会
- 75, 四高同窓会九州山口地方会員名簿(昭和32年9月)
- 76, 会員名簿(昭和32年12月)福井県四高会
- 77, 四高同窓会名簿追録(昭和33年度版)
- 78, 会員名簿(昭和33年度)第四高等学校同窓会 計6冊
- 79, 名古屋四高会会員簿(昭和34年5月)
- 80, 四高同窓会九州山口地方会員名簿(昭和35年1月)福岡四高会編
- 81, 会員名簿(昭和42年版)第四高等学校同窓会
- 82, 報告綴(本省)財団法人四高至誠会
- 83, 委嘱簿 財団法人四高至誠会
- 84, 会議招集書類 財団法人四高至誠会
- 85, 庶務日誌 財団法人四高至誠会
- 86, 履歴書 財団法人四高至誠会
- 87, 雑書綴 財団法人四高至誠会
- 88, 寄附行為 財団法人四高至誠会
- 89, 金沢孔子祭典会報告 第一回(大正11年11月12日開会)金沢孔子祭典会
- 90, 往復書類 財団法人金沢孔子会
- 91, 報告書 財団法人金沢孔子会
- 92, 職員姓名索引 第四高等中学校
- 93, 職員履歴(自一至二〇〇)第壹集 庶務掛
- 94, 職員履歴(自二〇一至三〇〇)第二集
- 95, 職員履歴(自三〇一至四〇〇)第三集
- 96, 職員履歴(自四〇一)第四集 庶務掛
- 97, 退職職員履歴書類(五)(昭和6年4月以降)
- 98, [履歴]
- 99, 命令簿
- 100, 命令簿(昭和16年以降)
- 101, 通知簿 庶務掛
- 102, 通知簿(昭和14年1月)庶務課
- 103, 通知簿(昭和21年1月)庶務課
- 104, [通知関係綴]
- 105, 人事異動通知綴 其の二
- 106, 身分ニ関スル書類
- 107, 身分ニ関スル書類
- 108, 職員身分ニ関スル書類
- 109, 身分ニ関スル書類
- 110, [身分ニ関スル書類綴] 他2部
- 111, [四高記念碑建立史料] 1袋
- 112, [四高同窓会関係書類] 1袋
- 113, 第四高等学校六十周年記念事業期成会書類 庶務係
- 114, 第四高等学校物品関係一覧表第四高等学校図面及び写真関係一覧表 1綴
- 115, 四高同窓会七十年記念全国大会記録書(昭

- 和31年10月) 四高同窓会
- 116, [四高関係スクラップブック] 四高同窓会
- 117, 叙位叙勲ニ関スル書類
- 118, 教員検定願書進達綴
- 119, 大学組織審査綴 其の二
- 120, 例規 一 資格審査関係
- 121, 北陸でんしんでんわ (前総裁大橋八郎先生追悼特集号)
- 122, 第四高等学校時習寮史
- 123, CATALOGUE OF THE LAFCADIO HEARN; LIBRARY IN THE TOYAMA HIGH SCHOOL
- 124, 内規 (昭和10年5月改訂) 第四高等学校
- 125, 内規 (昭和16年9月改訂) 第四高等学校
- 126, 第四高等学校一覧 (抜粋) 計3冊
- 127, 第四高等学校一覧 (自昭和13年4月至昭和14年3月)
- 128, 第四高等学校一覧 (自昭和14年4月至昭和15年3月)
- 129, 第四高等学校一覧 (自昭和15年4月至昭和16年3月)
- 130, 第四高等学校一覧 (自昭和16年4月至昭和17年3月) 計2冊
- 131, 第四高等学校一覧 (自昭和17年4月至昭和18年3月)
- 132, 中学校令中学校令施行規則中学校教授要目
- 133, 高等学校高等科修身科哲学概説科教授要目研究協議会講演集
- 134, 高等学校関係法令の沿革 (昭和15年3月) 文部省
- 135, 高等学校高等科改正教授要目 (案) (昭和12年2月8日) 文部省専門学務局
- 136, 高等学校高等科改正教授要目 文部省専門学務局
- 137, 高等学校高等科臨時教授要綱 文部省専門学務局

四高の概略

四高の前身は、1887 (明治20) 年、文部大臣森有礼に制定された「高等中学校令」に基づいて、石川県専門学校を母体に第四高等中学校 (予科3年・本科2年) として設立される。1894 (明治27) 年に「高等学校令」が制定され、第四高等学校と改称。以後、閉校まで一貫した。この学校名称は、北陸地域では“しこう”や“だいしこうとうがっこう”などと称された。和漢書目録英文版 (明治27年) にも、“DAI-SHI-KOTO CHUGAKKO”と記されている。

戦後の新学制によって、1949 (昭和24) 年5月31日新制大学の金沢大学に包括統合されて、金沢大学第四高等学校となる。翌1950 (昭和25) 年3月に、最後の卒業生を待って、63年間の四高は閉校される。

現在、四高の赤れんがの本校舎は重要文化財に指定され、石川近代文学館 (金沢市広坂) として現存する。近代文学館内には、四高の“超然主義”や南下軍の精神を讃える四高記念室がある。展示している資料の中には、超然趣意書や南下軍旗、時習寮箴規や三々塾日誌などがある。

資料の内容

1949 (昭和24) 年に新制大学の金沢大学に四高が包括統合されたことにより、四高関係資料も金沢大学に移管される。四高の事務関係資料は、金沢大学法文学部 (創設当時) の事務部に引継がれ、文学部・法学部・経済学部の3学部に分離した後も、事務関係資料は文法経の事務部で保管されて今日に至る。しかし、金沢城内から角間へ大学キャンパスが移転したことなどによって、事務関係資料の内いくつかは散逸したものと想像される。現在、四高の事務関係資料は文法経の事務部別室の金庫内に一括して保管されている。

文法経の事務部に所管されている四高関係資料は、大別すると下記の通りである。1) 写真・アルバム, 2) 庶務関係の例規, 3) 職員人事関係書類, 4) 外国人教師関係書類, 5) 生徒入学関係書類, 6) 思想性行関係書類, 7)

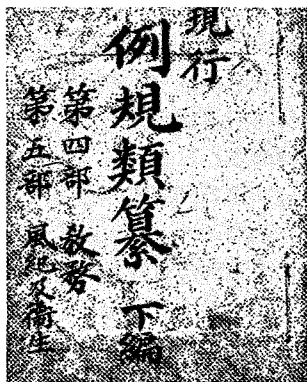
同窓会関係資料などである。

リスト No. 7の「参考書綴（思想性行）1」には、例えば「極秘 管内各種社会運動争議等一覧表 昭和六年四月九日調」といった四高や金沢医科大学などの昭和初期の思想活動状況が記されている。

(写真2)

No. 21の「現行例規類纂 下編 第四部教務第五部風紀及衛生」には、例えば「高等学校若クハ校友会等ノ举行スル祝賀会、紀念日、運動会ニ於テ生徒ノ催ス仮装行列又ハ仮装狂言ノ類ニシテ卑陋ニ涉リ風儀ヲ害スル如キモノ殊ニ女装ヲ為スコトハ自今之レヲ厳禁スルコト」という「明治三十九年高等学校長会議之決事項」など、教務・風紀・衛生に関する文書が綴られている。

資料複製；なし。



(写真3)

利用問題；事務部所管資料であるため、現段階では一般的に自由に閲覧利用することは難しい。加えて、資料の中には傷みや破損も激しいものもあるので、利用するには十分な注意が必要である。

関連資料；金沢大学には、附属図書館（地下書庫）に四高蔵書が約10万冊所蔵されている。検索は、四高分類表によるカード検索のみである。その他、図書館内（地下書庫）には、北条文庫（1713冊）や浦井文庫（487冊）、岸文庫（1101冊）や駒井文庫（5492冊）といった四高教官の寄贈図書がある。さらに、書庫内の特別資料室には、『北辰会雑誌』や『第四高等学校一覧』、『同窓会報』など貴重資料が他の旧制高校からの資料とともに保管されている。その内、『北辰会雑誌』や『第四高等学校一覧』のみが、マイクロフィルム化され一般に利用することが可能である。

III、金沢大学教育学部事務部所管の石川師範学校関係資料リスト（調査日：1998年1月27日）

- 1, 昭和19年度 出勤簿 石川師範学校
- 2, 昭和19年度 出勤簿（教官）石川師範学校
- 3, 昭和19年度 出勤簿（傭人）石川師範学校
- 4, 昭和20年度 出勤簿 石川師範学校
- 5, 昭和20年度 出勤簿（教官）石川師範学校
- 6, 昭和20年度 出勤簿（傭人）石川師範学校
- 7, 昭和20年度 出勤簿（炊事）石川師範学校
- 8, 昭和22年度 出勤簿 石川師範学校
- 9, 昭和22年1月 出勤簿 石川師範学校
- 10, 昭和22年 出勤簿（傭人）石川師範学校
- 11, 昭和22年 出勤簿 石川青年師範学校
- 12, 昭和23年 出勤簿（傭人）石川師範学校
- 13, 昭和23年度 出勤簿 石川青年師範学校
- 14, 昭和23年 出勤簿（事務職員）石川師範学校
- 15, 昭和24年 出勤簿 石川青年師範学校
[事務官等]
- 16, 昭和24年 出勤簿 石川青年師範学校
[作業員等]

- 17, 昭和24年度 出勤簿（事務職員）石川師範学校
- 18, 昭和24年度 出勤簿（傭人）石川師範学校
- 19, 昭和25年 教官出勤簿 生活科学教室
- 20, 昭和29年度 出勤簿 家政研究室
- 21, 昭和22年 暁烏文庫照会簿
- 22, 昭和22年 暁烏文庫郵便物並関係書類送達簿 暁烏文庫事務局庶務掛
- 23, 昭和22年9月 暁烏文庫設立委員会記事録（日誌） 暁烏文庫設立委員会 事務局
- 24, 昭和22年9月 暁烏文（庫）寄附金芳名簿 小松市地方委員
- 25, 昭和23年11月3日 暁烏文庫書庫落成式典挙行記録 石川師範学校
- 26, 昭和23年12月起 暁烏文庫寄附金芳名簿
1 江沼郡
- 27, 昭和23年12月 寄附金申込台帳（河北）
暁烏文庫設立事務局
- 28, 暁烏文庫寄附金芳名録 3-1 金沢市（中学）
- 29, 暁烏文庫寄附金芳名録 3-2 金沢市（小学）
- 30, 暁烏文庫寄附金芳名録 3-3 金沢市（小学）
- 31, 暁烏文庫寄附金台帳 師範学校の部
- 32, 暁烏文庫設立基金募集奉願帳（第1号）
石川県師範学校
- 33, 昭和25年4月29日 暁烏文庫図書目録 金沢大学教育学部
- 34, 昭和21年 教員適格審査ニ関スル処理綴
石川青年師範学校
- 35, 昭和21年 教員適格審査ニ関スル法令・通牒綴 石川青年師範学校
- 36, 自昭和21年6月至昭和23年12月 教職員適格審査表控綴（第5号） 金沢大学石川青年師範学校ノ部
- 37, 自昭和21年6月至昭和23年12月 教職員適格審査表控綴（第1号） 金沢大学教育学部教員ノ部
- 38, 自昭和21年6月至昭和23年12月 教職員適格審査表控綴（第2号） 金沢大学石川師範学校教員ノ部
- 39, 自昭和21年6月至昭和23年12月 教職員適格審査表控綴（第3号） 石川師範学校附属校教員ノ部
- 40, 自昭和21年6月至昭和23年12月 教職員適格審査表控綴（第4号） 金沢大学 教育学部 石川師範学校事務職員ノ部
- 41, 昭和21年起 教職員適格審査関係書類綴（含ム 公職関係書類）金沢大学 教育学部 石川師範学校 庶務係
- 42, 昭和22年7月 教職及公職適格審査確認書 写綴
- 43, 自昭和24年1月 教職員適格審査表控綴（第6号） 金沢大学教育学部庶務係
- 44, 自昭和25年1月至 年 月 新制大学教員審査申請名簿綴（第2号） 金沢大学教育学部
- 45, 大学設置審議会申請用 教育学部教員審査申請名簿綴 金沢大学教育学部
- 46, 昭和26年2月 公職適格審査調査表綴控（和文 八級職以下）1 金沢大学教育学部
- 47, 自昭和27年1月至 年 月 新制大学教員適格審査申請名簿綴（第3号） 金沢大学教育学部
- 48, 教員資格審査資料 1ファイル
- 49, 昭和24年起 教育学部沿革史 金沢大学教育学部
- 50, 石川県師範教育史編纂 関係書類綴 編集委員会
- 51, 昭和7年以降 学事年報 石川県立金沢第二高等女学校
- 52, 自昭和10年度 定期報告綴 石川県師範学校
- 53, 昭和21年8月1日調成 石川師範学校調査報告（本調査は進駐軍に提出のため作成） 石川師範学校
- 54, 昭和21年8月 石川青年師範学校調査手引
- 55, 昭和21年度 報告回答雑件 石川師範学校 教務課

- 56, 昭和23年度 報告回答雑件（第5号） 石川師範学校教務課
- 57, 昭和23年度 年報統計・調査報告 石川師範学校
- 58, 昭和23年度マデ 調査資料（学校行政・機構・人事定員） 石川師範学校
- 59, 昭和24年度 定例報告（月報・年報・統計・調査） 金沢大学 石川師範学校 教育学部 石川青年師範学校
- 60, 昭和24年25年度 調査資料（附）学校歴史・学校行政・機構・人事定員 金沢大学教育学部
- 61, 昭和25年 定例報告（月報・年報・統計・調査） 金沢大学 教育学部 石川師範学校 石川青年師範学校
- 62, 昭和27年 調査資料（学校行政・機構・人事定員） 金沢大学教育学部 庶務係
- 63, 日誌 庶務
- 64, 日誌 庶務係
- 65, 昭和23年 日誌 石川師範学校
- 66, 昭和25年度 庶務日誌 金沢大学教育学部
- 67, 昭和26年1月 日誌 庶務係
- 68, 昭和26年1月 日誌 厚生補導係
- 69, 昭和26年 一般往復文書（文部省関係・石川県関係・その他・学内） 金沢大学教育学部 庶務係
- 70, 昭和27年 一般往復文書（日本教育大学協会・各種研究会・外国留学生・内地留学研究員・指導主事講習） 金沢大学教育学部庶務係
- 71, 昭和27年 一般往復文書（文部省 人事・給与・調査を除く） 金沢大学 教育学部庶務係
- 72, 昭和27年 一般往復文書（石川県・その他官庁・日本学術会議・全国大学教授連合・学内一般） 金沢大学教育学部庶務係
- 73, 昭和20年8月ヨリ昭和21年12月マデ 連合軍指令部指令等ニ関スル通牒 石川師範学校庶務課
- 74, 連合軍指令ニ関スル通牒
- 75, 自昭和20年8月15日至 連合軍指令関係公文書綴 石川師範学校教務課
- 76, 連合軍関係書類綴（綴番号71番以下） 石川師範学校庶務課
- 77, 連合軍指令部命令学校調査に関する件 石川青年師範学校
- 78, 連合軍指令部ヨリノ指令綴 石川青年師範学校
- 79, 昭和9年4月起 人事異動録 石川県師範学校
- 80, 昭和18年度 発令異動簿 石川師範学校
- 81, 昭和18年度 発令異動簿 傷病軍人国民学校初等科准訓導石川養成所
- 82, 昭和19年7月起 発令異動簿 石川師範学校明倫報国団
- 83, 昭和19年度 発令異動簿 石川師範学校庶務課
- 84, 昭和19年 辞令簿 石川青年師範学校
- 85, 昭和20年度 発令異動簿 石川師範学校
- 86, 昭和21年 辞令簿 庶務課
- 87, 昭和22年4月自 昭和24年3月至 発令異動簿 庶務課
- 88, 昭和22年度 発令異動簿 石川師範学校
- 89, 昭和23年度4月1日自 昭和24年3月31日至 発令異動簿 石川師範学校
- 90, 昭和24年2月 発令異動簿別冊の一 石川師範学校
- 91, 昭和24年4月15日 発令異動簿別冊の二 石川師範学校
- 92, 昭和24年4月自昭和 年 月至 発令異動簿 庶務課
- 93, 昭和24年度 辞令簿 石川青年師範学校
- 94, 昭和19年より21年 職員進退に関する文書 石川青年師範学校
- 95, 昭和22年より24年迄 職員進退に関する文書 石川青年師範学校
- 96, 昭和18年度 第九類 往復書類 石川師範学校教務課
- 97, 昭和18年度 第九類 往復（石川県庁, 一般官衙, 学内） 石川師範学校
- 98, 昭和18年度 第九類 往復 文部省 石川

師範学校

- 99, 昭和19年度以降 第九類第二項 石川県往復 石川県関係綴 石川師範学校女子部
- 100, 昭和20年度 報告回答 往復文書 石川師範学校教務課
- 101, 昭和20年度 第九類 往復 石川県 その他の官庁 石川師範学校
- 102, 昭和20年度 第九類 往復 文部省 石川師範学校
- 103, 昭和21年度 第九類 (其の二) 往復 その他の官庁, 国民学校視察, 各種講習会, 学校集団 石川師範学校
- 104, 昭和22年度 第九類 往復 其の一 文部省 石川県師範学校
- 105, 昭和22年度 第九類 往復 其の二 その他の官庁 石川県師範学校
- 106, 昭和17年度往復書類綴 石川県女子師範学校
- 107, 昭和18年4月本省通達本部往復綴 石川師範学校女子部
- 108, 昭和19年度本部往復書類綴 石川師範学校・・・ [切れ]
- 109, 昭和20年度 往復文書 (日本教育大学関係, 科学者調査関係, 学術研究奨励金関係, 日本学術会議関係, 全国大学教授連合会) 金沢大学教育学部庶務係
- 110, 昭和21年度本部往復書類綴 石川師範学校女子部
- 111, 昭和21年度一般官庁往復書類綴 石川師範学校女子部
- 112, 昭和21年 本省往復文書 庶務課 (石川青年師範学校)
- 113, 昭和23年 往復文書 (文部省一般, 同組合関係) 石川師範学校庶務係
- 114, 昭和23年 往復文書 (石川県, 一般官庁) 石川師範学校
- 115, 昭和24年度 本省往復文書 石川県師範学校教務課
- 116, 昭和24年 往復文書 (文部省一般通牒, 職員団体, 石川県関係) 金沢大学 石川師範

学校 教育学部

- 117, 昭和24, 25年 往復文書 (教育長, 指導主事, 研修・内地研究, 教育大学協会, 日本学術会議, 大学基準協会, 大学教授連合会) 金沢大学教育学部庶務係
- 118, 昭和24及25年 (合冊) 恩給及退職手当関係 往復文書 (文部省通牒, 準則, 手続, 例規, 規則, 法令) 石川師範学校 金沢大学教育学部
- 119, 昭和25年 第 号 往復文書 (連合軍関係, 外国出張, 留学, 大学基準協会) 金沢大学教育学部庶務係
- 120, 昭和25年度 往復文書綴 教育学部
- 121, 昭和25年 往復文書 (本省関係, 石川県関係, 其の他一般官庁, 学内一般) 金沢大学教育学部
- 122, 昭和26年 往復文書 (連合軍関係, 外国出張・留学, 日本教育大学協会, 大学教授連合IFEL (教育指導者)) 金沢大学教育学部庶務係
- 123, 昭和28年度 往復文書 (職員の福祉厚生関係, 大学認定講習関係, 大学専攻科関係) 金沢大学教育学部庶務係
- 124, 昭和29年度 往復文書 (内外留学関係, ユネスコ関係) 金沢大学教育学部庶務
- 125, 昭和29年度 往復文書 (文部省, 学内関係) 教育学部厚生補導
- 金沢大学教育学部事務局所管の石川師範学校関係資料リスト (調査日: 1998年3月26日)
- * 同上の続き
- 126, 昭和18年度 第二類人事 (叙位叙勲 恩給賞与 俸給其ノ他) 石川師範学校
- 127, 昭和19年度 第二類人事 (官等叙位叙勲 俸給恩給賞与 其ノ他人事雑件) 石川師範学校
- 128, 昭和19年度 第二類人事 (任免 高等官以下) 石川師範学校
- 129, 昭和20年度 第二類人事 (任免二級官三級官嘱託以下 叙級叙位 叙勲級俸 恩給) 石

川師範学校

130, 昭和20年度 第二類人事(諸願届 復命書 人事雑件)石川師範学校

131, 昭和21年度 第二類人事(任免 官等叙位)石川師範学校

132, 昭和21年度 第二類人事(恩給 給与)石川師範学校

133, 昭和21年度 第二類人事(其ノ二)諸願届 復命書 雑件(部内部外)石川師範学校

134, 昭和23年度 第二類人事(其の二)任免 石川師範学校

135, 昭和23年度 第二類人事(其の二)俸給 給与 石川師範学校

136, 昭和23年 人事(任免・兼職)石川師範学校

137, 昭和23年 人事(扶助料 恩給退職手当 給与(俸給))石川師範学校

138, 昭和24年度 人事其の二(任免) 金沢大学石川師範学校 金沢大学教育学部 金沢大学石川青年師範学校

139, 昭和24年 人事(恩給・退職手当 給与(昇給・昇格))金沢大学 教育学部 石川師範学校 石川青年師範学校

140, 昭和24年5月迄 人事其の一(任免)石川師範学校 金沢大学教育学部

141, 昭和25年 人事(恩給・退職手当・給与(昇給・昇格))金沢大学教育学部

142, 昭和25年 人事(任免事項)金沢大学教育学部 金沢大学石川師範学校 金沢大学石川青年師範学校

143, 昭和26年 人事(任免)其の 金沢大学教育学部

144, 昭和27年 人事(任免一般)金沢大学教育学部

145, 昭和27年 人事(恩給 退職手当 俸昇給 昇格 給)金沢大学教育学部庶務掛

146, 定員及機構関係人事関係雑件(任免を除く)昭和29・30 教育・庶務

147, (任免を除く)人事関係雑件定員及機構関係 規程改廃 自昭和31年1月より至

148, 定員・人事関係資料綴 金沢大学教育学部

149, 昭和25年12月31日現在 昭和25・11・27 給実乙第226号及同12・4 文人給227号に基く 教育職員各人の提出確認履歴書 資料一(二の内一) 金沢大学教育学部庶務掛

150, 職員履歴書綴 石川青年師範学校

151, 昭和18年起 事務職員 履歴書 第3号 2の内1号 石川師範学校

152, 自昭和19年4月至全26年3月(創設より 廃校まで) 旧職員履歴書綴(教員及び事務職員 合本) 金沢大学石川青年師範学校

153, 旧職員在職年限等調査簿 石川県女子師範学校 石川県立金沢第二高等女学校

154, 昭和19年9月起 勤続年数発令異動簿 石川師範学校

155, 昭和18年以降 職員組織表 石川県立金沢第二高等女学校

156, 自昭和18年度 賞与ニ関スル書類綴 石川師範学校

157, 昭和21年官庁職員給与制度改正 俸給代替措置関係書 石川青年師範学校

158, 昭和23年8月 新給与実施ニ関スル書類 石川青年師範学校

159, 昭和23年5月31日法律第46号による(昭和23年1月1日現在2921円ベース)新給与切替 実施調書 石川師範学校

160, 昭和24年4月 6307円新俸給額決定補正 書類 石川青年師範学校

161, 明治13年以降 職員沿革略表 石川県師範学校

162, 職員身上異動届 石川師範学校

163, 退職者履歴書 石川県女子師範学校 石川県立金沢第二高等女学校

164, 大正2年以降 職員任免簿 石川県立第二高等女学校

165, 昭和6年6月以降 職員任免簿 石川県女子師範学校 石川県立金沢第二高等女学校

166, 昭和12年7月以降全18年3月 任免辞令簿 石川県女子師範学校 石川県立金沢第二高等

等女学校

167, 自昭和18年3月至 任免辞令簿 石川県立金沢第二高等女学校

168, [任免関係資料 石川県女子師範学校 石川県立金沢第二高等女学校]

169, 昭和23年7月1日現在 全国師範学校職員録 石川師範学校庶務課

170, ㊦人事ニ関スル例規

171, 昭和23年至昭和24年12月 ㊦教育学部教員調査書(第1号) 金沢大学

172, 非常勤講師 (人事関係ファイル)

173, 昭和23年度 出張命令簿 石川青年師範学校

174, 昭和18年度出張命令書 傷痍軍[人]国民初等科准訓導石川養成所

175, 自昭和23度至昭和27年度 進学適性検査関係 教育学部

176, 昭和27・8年度 進学適性関係記録

177, 昭和28年度 ろう教育入学関係書類 厚生補導係

178, 昭和18年度ヨリ 入学者名簿 石川師範学校

179, 昭和23年7月 第七次引揚学徒転入希望者名簿 石川師範学校教務課

180, 昭和21年度2月起 昭和21年入学ニ関スル(予科, 本科生)往復書類綴 石川師範学校教務課

181, 昭和22年度 入学ニ関スル書類 石川青年師範学校

182, 昭和13年4月入学 学籍簿 女子師範学校 *題目等鉛筆書

183, 昭和13年4月入学 学籍簿 第二 女子師範学校 *題目等簿

184, [学籍簿 石川県師範学校] *扉なし

185, 昭和10年4月入学 学籍簿 [石川県女子師範学校] *破損ヒドシ

186, 本科第一部第二学年 学籍簿 石川県女子師範学校

187, 本科第一部第三学年 学籍簿 石川県女子師範学校

188, 本科第一部第五学年 学籍簿 石川県女子師範学校

189, 本科第二部第一学年 学籍簿 石川県女子師範学校

190, 本科第二部第二学年 学籍簿 石川県女子師範学校

191, 明治40年3月以降 本科女卒業証書原簿 石川県師範学校

192, 昭和25年以降 卒業生に関する件 金沢大学教育学部

193, 本科第二部 卒業者学籍簿 石川県女子師範学校

194, 本科第二部女 卒業生 学籍簿 石川県師範学校

195, 専攻科 卒業者学籍簿 石川県女子師範学校

196, 第二種講習科修了者学籍簿 石川県女子師範学校

197, 明治9年以後 講習修了証書等扣

198, 昭和25年度 講習科入学関係書類 金沢大学教育学部

199, 昭和25年 現職教育関係綴 金沢大学

200, 昭和18年2月施行 国民学校教員検定試験書類 石川県女子師範学校

201, 昭和20年3月施行 国民学校教員 検定試験書類 石川師範学校女子部

202, 昭和24年7月30日 旧令による教員免許状等所有者調 石川師範学校 石川青年師範学校

203, 昭和24年 教育実習書類 教務課

204, 昭和17年度 第一回国民学校職員講習会彙類綴 *破損ヒドシ

205, 昭和20年度(3月22日開講) 第一回初訓講習書類 石川師範学校女子部係 *宣誓書在中

206, 自昭和20年12月20日至昭和21年4月19日 第三回初訓記録

207, 自昭和14年8月至昭和18年3月 傷痍軍人尋准関係書類綴 傷痍軍人国民学校初等科准訓導石川養成所 石川県師範学校

- 208, 昭和18年度起 学規例規綴 傷痍軍人国民学校初等科訓導石川養成所
- 209, 昭和24年 教育研究所書類 石川師範学校
- 210, 昭和29年10月18日より23日まで実施 教官研究集会関係 教育学部
- 211, 昭和18年度 第七類第八類第十一類 学事統計及報告書類 研究及補助関係書類 雑件書類 石川師範学校教務課
- 212, 昭和18年度 第五類 調査報告(職員生徒児童調 職員録官報原稿 学校一覽 其ノ他印刷) 石川師範学校
- 213, [昭和18-19年 第七類第二項 研究及補助関係 石川師範学校] *扉なし
- 214, 昭和19年度 第五類 年報調査報告 石川師範学校
- 215, 昭和20年度第五類 年報調査報告 石川師範学校
- 216, 昭和21年 第三類第四類第五類第六類第七類第八類 生徒及児童(昭和18年以降) 会議 統計調査報告(年報) 研究補助自然科学 儀式 褒章 石川師範学校
- 217, 職員調査ニ関スルモノ
- 218, 昭和19年度 第七類 儀式 石川師範学校
- 219, 昭和20年度 第七類 儀式 石川師範学校
- 220, 一般発来翰書類綴 石川師範学校教職員組合
- 221, 昭和18年4月以降 職員会議録 石川師範学校
- 222, 昭和22年4月起 教官会議録 石川師範学校女子部
- 223, 昭和23年9月 教官会議録 石川師範学校
- 224, 昭和24年4月 教官会議録 石川師範学校 石川青年師範学校
- 225, 昭和25年4月 部内連絡伝達回報綴
- 226, 昭和22年1月1日起至24年12月迄 人事任免法令規程等 官報重要事項抜粹 金沢大学教育学部 石川師範学校 庶務係 *扉破損
- 227, 昭和18・19年 第三類 文部省通牒等 石川師範学校 *扉破損
- 228, 昭和18年以降 規則規程 例規綴(本校) 会計課
- 229, 昭和19年 庶務例規 庶務課 石川青年師範学校
- 230, 昭和18年度 公文書綴 生徒課
- 231, 昭和19年度 往復文書綴 石川師範学校教務課
- 232, 昭和21年度 公文書綴 石川師範学校教務課
- 233, 昭和22年度 公文書綴
- 234, 昭和22年度 本省往復文書 教務課
- 235, 昭和23年度 公文書綴 第2号 石川師範学校教務課
- 236, 昭和23年度(授業関係) 公文書綴 第1号 石川師範学校教務課
- 237, 昭和22年 地方往復文書 石川青年師範学校
- 238, 昭和24年 地方庁往復文書 石川青年師範学校
- 239, 昭和24年 参考書類綴 池端用
- 240, 庶務日誌 教育学部
- 241, 昭和25年度 警務員勤務日誌 金沢大学教育学部 *破損あり
- 242, 昭和20年度 教務関係通牒綴
- 243, 自昭和24年4月至昭和24年6月 法令日誌
- 244, 昭和24年7月 法令日報 金沢大学教育学部
- 245, 金沢大学諸規程規則規約綴
- 246, 自昭和24年至昭和29年度 諸規程綴 厚生補導係
- 247, 昭和25年4月 公文書綴乙 厚生補導係
- 248, 昭和26年 文書綴 厚生補導係 *破損ヒドシ
- 249, 昭和27年 文書綴 厚生補導係
- 250, 昭和33年度 補導関係書類綴 学生係
- 251, 昭和5年以降 秘密書類 第4号 石川

県女子師範学校 石川県立金沢第二高等女学校
252, 昭和9年度以降12年度迄 第5号 秘密書類 石川県女子師範学校 石川県立金沢第二高等女学校
253, 昭和13年度以降 秘密書類 石川県女子師範学校
254, 昭和19年度以降 秘密書類 石川県立金沢第二高等女学校
255, 昭和19年自1月至12月 文書收受発件簿 石川師範学校
256, 昭和21年自1月至12月 文書收受発件名簿綴 石川師範学校庶務課
257, 昭和23年自1月至12月 文書收受発件名簿綴 石川師範学校庶務課
258, 石川師範大学創設準備会 暁烏文庫設立委員会ニ関スル書類綴 石川県師範学校
259, 昭和22年2月 教育大学創設準備協会関係書類綴 教育大学創設準備協会北信地区支部
260, 昭和19年4月1日 学校沿革史 石川青年師範学校
261, 昭和22年12月 校地校舍台帳 石川県立第二高等女学校
262, 昭和22年1月至昭和23・5・27日 役員会員名簿 第1号 石川師範学校教職員組合
263, 昭和24年度 職員組合記録関係書類 石川師範学校教職員組合
264, 自昭和28年度至昭和35年度 卒論書類 教育学部学生係
265, 一般教養単位履修内規綴
266, 自昭和27年度至昭和31年度 授業時間割表 教育学部学生係
267, 教員養成制度の諸問題 教育学部
268, [平成4年1月9日付 教育委員会委員長から教育学部長藤則雄宛 女子師範関係書類譲渡の(写)]
269, [平成2年3月22日付 しらゆき会から藤教育学部長宛 記念碑存続願の(写)]
270, 学校沿革史 石川県師範学校
271, 石川県女子師範学校沿革史 石川県女子師範学校

272, 石川女子師範学校 沿革史(その二) 石川女子師範学校同窓会 平成9年6月2日補完 計4冊子

師範学校の概略

「石師」は、1874(明治7)年8月、小学校教員を養成するため、石川県集成学校として設立される。同年11月、石川県師範学校と改称。翌8年、女教員養成のため石川県女子師範学校を設立し、男子師範校舎内に併設する。1883(明治16)年11月、女子師範を併合する。1914(大正3)年4月、石川県女子師範学校が分立する。1943(昭和18)年3月、石川県師範学校は、「師範学校令」により専門学校に昇格し、文部省直轄となる。同年4月、石川県女子師範を合併して、石川師範学校男子部・女子部となる。

「青師」は、1918(大正7年)4月、石川県立農業学校教員養成所として設立される。1921(大正10年)4月、石川県立実業補習学校教員養成所と改称。1937(昭和12)年4月、石川県立青年学校教員養成所に改設し、石川県立女子青年学校教員養成所を設立する。1944(昭和19)年4月、女子青年学校教員養成所を合併し、石川青年師範学校となる。

1949(昭和24)年5月31日、新制大学の金沢大学に包括統合され、金沢大学石川師範学校、金沢大学石川青年師範学校と改称される。1951(昭和26)年3月には、石師と青師は閉校される。

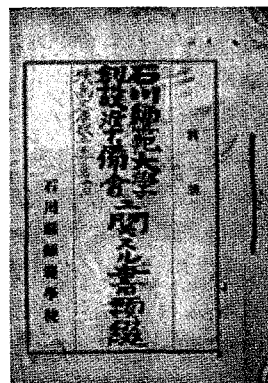
現在も、同窓会組織が活動を続けており、『百年記念』石川師範同窓会(1988年)や『会誌しらゆき』石川県女子師範学校・石川師範学校女子部しらゆき会(1991年)、『石川青教青師五十年』石川青年師範学校同窓会(1983年)などの刊行物が出されている。*しかし、残念ながら、1998年9月には女子師範同窓会が、同年10月には石川師範同窓会が、卒業生の高齢化を理由に解散している。

資料の内容

1949（昭和24）年5月31日、新制大学の金沢大学に石師と青師が包括統合されたことにより、師範の事務関係資料も金沢大学教育学部事務部に引継がれる。現存する教育学部の石師と青師の事務資料は、金沢大学城内キャンパスに保管されていたものである。しかし、城内キャンパスに移されなかった事務資料は、1959（昭和34）年の弥生校舎の火災により、多くが焼失したものと想像される。女子師範の事務資料は、金沢大学教育学部40年史編纂のため、1992（平成4）年に教育委員会（県立金沢桜丘高等学校保管）から教育学部に譲渡され、石師と青師と同じく教育学部事務部に保管され現在に至る。

教育学部の事務部に所管されている師範関係資料は、大別すると下記の通りである。1）文部省等との往復文書、2）教職員人事に関する書類、3）生徒の学籍簿、4）石川師範大学・暁烏文庫創設準備関係書類、5）教職員会議録などである。

例えば、リストNo. 222とNo. 258とNo. 259等を見ると、石師が北陸総合大学設立に参画することと併行して、師範学芸大学設立構想も模索していたことがうかがえる。1947（昭和22）年7月4日の定例会議には、「金沢高師ハ総合大学ニ合流、青師ハ本校ト共ニ学芸大学設置ニ一応合流ノ意向デアル…総合大学設立ノ場合ハ一学部トシテナラバ合流スル旨申入置イタ尚二十四年迄総合大学設置ナキ場合ハ学芸大学設立ヲ目指ス予定」と記されている（No. 222より）。また、注目すべきは、師範学芸大学設立のために、教養施設として「暁烏文庫」、研究施設として「教育研究所」等を構想していた点である。現在も、附属図書館で大切に保管されている暁烏文庫は、宗教家の暁烏敏（あけがらすはや）の蔵書を、石師校長の清水暁昇らが師範学芸大学設立に役立てるために寄贈をお願いしてできたものである。昭和22年7月9日に起案された「暁烏文庫設立委員会要項」には、「本会は別紙趣意書の如く暁烏先生寄贈の図書（約



（写真4）

五万冊）を収納保管する書庫並に閲覧室を建造し、生徒、卒業生及一般に公開して学術研修に資すると共に地方文化の啓発向上に資し併せて学芸大学たるの実質に添はんことを目的とする」と明確に記されている（No. 258より）。師範学芸大学設立構想については、『金沢大学50年史』（教育学部の章）などで明らかにされる予定である。

資料複製；なし。

利用問題；事務部所管資料であるため、現段階では一般的に学外から自由に閲覧利用することは難しい。資料の中には、傷みや破損の激しいものもあるので、利用の際には十分な注意が必要である。

関連資料；金沢大学には、附属図書館（地下書庫）に師範の蔵書が約3万冊所蔵されている。ただし、未整理の状態である。この他、図書館内（地下書庫）には、石師の蔵書であった暁烏文庫（49124冊）や、石師出身者吉岡（旧姓宮崎）勝恵の寄付金による吉岡文庫（408冊）が保管されている。図書館では、現在5万冊の暁烏文庫の目録化を進めている。

おわりに

大学の事務部所管大学史関係文書は、大部分が一般に公開されない公文書である。また、ある時期が過ぎれば参照される事が減多にないの

で、どこの大学でもふつうもっとも条件の悪い場所に未整理のまま収蔵されているのではなかろうか。金沢大学の場合は、近年の段階的移転のため、収蔵場所も新しくなり、古い文書がよく所蔵されている方であろう。しかし、本文中にも触れたように、重要資料の一部がこの移転の際紛失した可能性もある。ともあれ、金沢大学50年史の編纂を機会に、現段階で確認できた主要前身校関係資料リストをまとめて公にする事は当然なすべき事であったと思う。以下では、本文中で触れられていないいくつかの点を補っておきたい。

ここに挙げられた資料のうち目立つのは、教官の詳細な履歴や名簿に関する資料が多い事である。これは大学発足時の資格審査や適格審査が重なった事にもよろうが、遺族の方にとっては、公文書なるがゆえに、特に貴重な事はいうまでもない。また、往々間違っただけでなく、戦後の混乱期の前身校の教官の所属や地位を確定する基本史料である。大学史研究の観点からしても、新制大学発足時の教官の有資格者を旧植民地の帝国大学教官などからどのように集めたか、地元の前身校の教官をどのように移行させたかなどは、初期の個々の大学の個性を決めたのであり、将来の研究関心を喚ぼうが、その研究には貴重な史料群といえよう。また、四高の「例規」は、大正七年以後が完備しており、これを詳細に検討すれば、旧制高校の実態が浮かび上がるであろう。

金沢大学50年史の編纂は、当初の計画どおりならば短期間に終わらざるを得ない（平成12年度中完成）ので、これらの史料の全面的な活用は、残念なことに今回はできない部分が多い。しかし、時間をかけて検討すれば面白い題材に事欠かないし、とりわけ、75年史や100年史の編纂事業のためには、かけがえのない史料群である。今後、歴代の関係管理職や担当部局の責任者がしっかり守り続けてくれる事を心から期待したい。

なお、本学では、50年史編纂事業の出発に当たり、事務部局の資料調査への協力体制が確認されており、今回の我々の調査には、事務官の方々の種々の配慮を煩わせた。調査のための別室の手配など各部局の庶務係をはじめ、大いにお世話になった事も記録に止めておきたい。

付記

今回、本稿の形で公表するに当たって、金沢大学50年史編纂委員会委員長橋本哲哉（経済学部教授）の了解をいただいた。

同資料調査には、金沢大学各学部事務部の協力に加えて、前身校の蔵書概数調査には梶井重明（附属図書館専門員）、四高・石川師範の資料調査補助には在田則子（資料館学芸員）、石川師範関係資料の受入れ経緯等については大久保英哲（教育学部教授）などの諸氏の尽力をいただいた。